

(2) 金沢大学埋蔵文化財調査センター講演会・研究会記録

共催団体：古代学協会北陸支部、金沢大学文学部考古学研究室、西アジア考古学会
対象：研究者、学生、及び一般

2002年(平成14年)

6月1-2日 西アジアの考古学

記念講演会 角田 文衛(古代学研究所所長、古代学協会理事長)「考古学の基本問題」
浅香 正(同志社大学名誉教授)「もう一つのシルクロードーポンペイと東方世界ー」
研究発表会 小高敬寛(早稲田大学)「テル・エル・ケルク遺跡出土の精製彩文土器」, 安部雅史(東京大学)「農具をつくる先史遊牧民ージャフル石刃の研究」, 紺谷亮一(岡山市立オリエント美術館)「イラン考古学への新視点」, 足立拓朗(中近東文化センター)「イランにおける青銅剣から鉄剣への変化について」, 久米正吾(早稲田大学)「タル・イ・バクーン A 遺跡の再検討」, 西本真一(早稲田大学)「古代エジプトの石切り場調査」, 石田恵子(古代オリエント博物館)「西アジアの動物印章」, 巽 善信(天理大学参考館)「西アジアの馬面」

6月13日 下條信行(愛媛大学)「弥生拠点集落は都市か」

6月15日 金沢大学考古学大会・平成14年度

村上章義(歴史の杜)「群馬県における民間調査機関の導入ー長野原町の調査」, 庄田知充(金沢市教育委員会)「金沢城下町出土の年代のわかる火災資料」, 小沢佳憲(福岡県教育委員会)「福岡県吉井町堂畑遺跡(弥生~古代)の調査成果」, 伊藤伸幸(名古屋大学)「メソアメリカ都市遺跡発掘調査から」

6月25-27日 最新の考古学を語る 奈良文化財研究所における文化財分析・保存・修復

6月25日 沢田正昭(奈良文化財研究所)「古代壁画の環境と保存」

6月26日 肥塚隆保(奈良文化財研究所)「古代ガラス分析からみた国際交流」

6月27日 高妻洋成(奈良文化財研究所)「有機質遺物の分析と保存」

7月6-7日 第9回ヘレニズム・イスラーム考古学研究会

7月18日 常木晃(筑波大学)「ハラフ文化の研究」

10月12日 九谷と有田・染付文様

北春千代(石川県立歴史博物館)「九谷焼研究の現状」, 佐々木達夫(金沢大学)「九谷焼の考古学調査」, 井上喜久男(愛知県陶磁資料館)「九谷古窯跡出土の染付文様」, 野上建紀(有田町歴史民俗資料館)「有田古窯跡出土の染付文様」, 堀内秀樹(東京大学埋蔵文化財調査室)「江戸遺跡出土の九谷焼」, 中野雄二(波佐見町教育委員会)「波佐見の江戸後期の窯跡」

2003年(平成15年)

2月21日 中国考古学・研究の最前線

中村慎一(金沢大学)「良渚文化石器の分類」, 田名利(南京博物院考古研究所)「關於寧鎮地区新石器時代玉器」, 梅建軍(日本学術振興会)「Early Copper-based Metallurgy in China. Old question, New perspective」, 李肖(中国社会科学院考古研究所)「近年の新疆における考古学的発見について: 古代西域龜茲国に関する考古学の最新の進展」, 高浜秀(金沢大学)「草原地帯と新疆発見の金製品の共通性」